

日本植物学会第70回大会 研究発表プログラム



Polemonium kiushianum Kitam.

ハナシノブ

熊本大学黒髪キャンパス

日本植物学会第70回大会 研究発表プログラム 熊本 2006

学会会長 和田 正三
大会会長 内野 明德

会期 2006年9月13日～16日
会場 熊本大学黒髪キャンパス

- 9月13日(水) 編集委員会, 拡大編集委員会, 評議員会
- 9月14日(木) 研究発表, 奨励賞受賞講演, 関連集会, ミキサー
- 9月15日(金) 研究発表, 授賞式, 受賞講演, 総会, 懇親会
- 9月16日(土) 研究発表, 公開シンポジウム

会場への交通案内

◆大会会場への交通のご案内

- * 研究発表・編集委員会・評議員会・公開シンポジウム等は、全て熊本大学黒髪キャンパス（熊本市黒髪2丁目）で開催します。懇親会は、熊本ホテルキャッスルです。
- * 各会場の位置は、3ページのキャンパス案内図をご覧ください。
- * 熊本大会HP（<http://bsj.or.jp/bsj70/>）からリンクしているバス会社のHPに、運行ダイヤ・運賃表・バス停の写真などが詳しく載っています。同様に、リンクしている熊本大学のHPにも大学までの乗換え案内が詳説されていますので、是非ご参照下さい。

□バス会社4社のうち、熊大方面は産交バスと熊本市営バスの2社が主に運行しています。

[熊本空港から交通センターまで] 空港リムジンバスで約40分,670円

産交バスがリムジンバスを運行しています。乗車券は、空港内の自動販売機で購入して下さい。

[JR熊本駅から熊本大学まで直行] 約25分,260円

産交バスの「子7」「子8」「子9」「子20」と市営バスの「子1」「西1」系統は、交通センターを経由して、熊本大学まで乗換えなしで行けます。

[JR熊本駅から交通センターまで] 路面電車（市電）15分,150円、バス15分,130円

熊本駅を出て、右前方の交番前がバス停、左前方が市電の電停です。

- ◎市営バスの場合；「子1」「西1」「西2」「西3」に乗車。
- ◎産交バスの場合；「子7」「子8」「子9」「子20」系統で交通センターも熊本大学へも行けます。
- ◎市電の場合；「健軍行き」に乗車して辛島町（からしまちょう）で下車、交通センターまで徒歩5分。

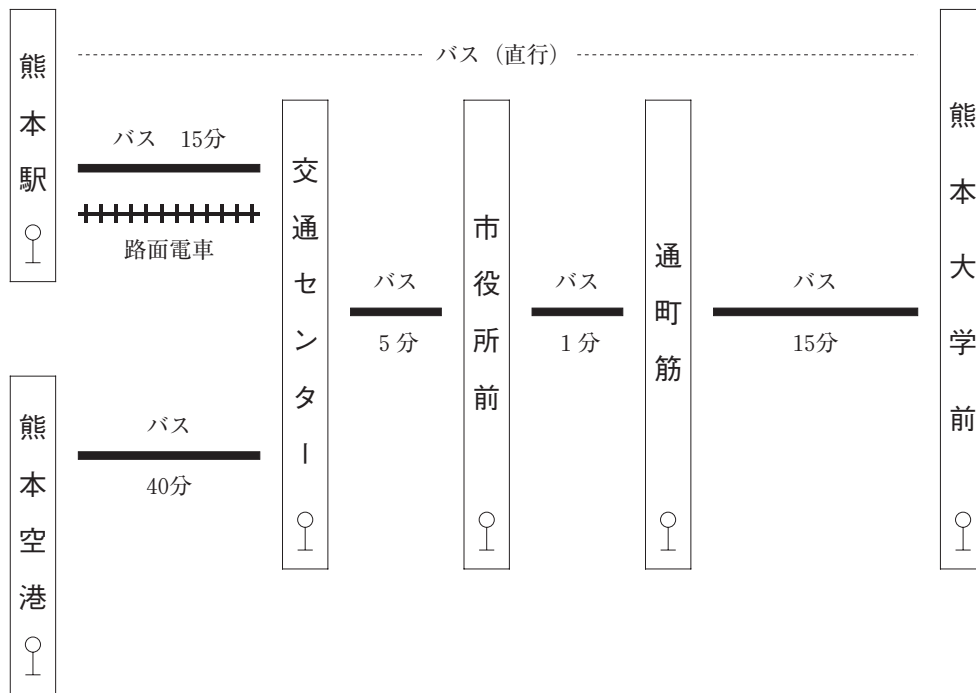
[交通センターから熊本大学まで] バス約20分,190円

- ◎熊本市営バス；Bホーム12番から「子1」「子17」「新1」「西1」に乗車。
- ◎産交バス；Bホーム13番から「子7」「子8」「子9」「子18」「子20」に乗車。

※タクシーご利用の場合

空港や市内各所は、多くの流しのタクシーが走っています。行き先は「熊本大学の黒髪（くろかみ）キャンパスまで」と言って下さい。

◎熊本空港から熊本大学まで	所要時間	約40分	約5,000円
◎JR熊本駅から熊本大学まで	所要時間	約20分	約2,000円
◎交通センターから熊本大学	所要時間	約15分	約1,100円



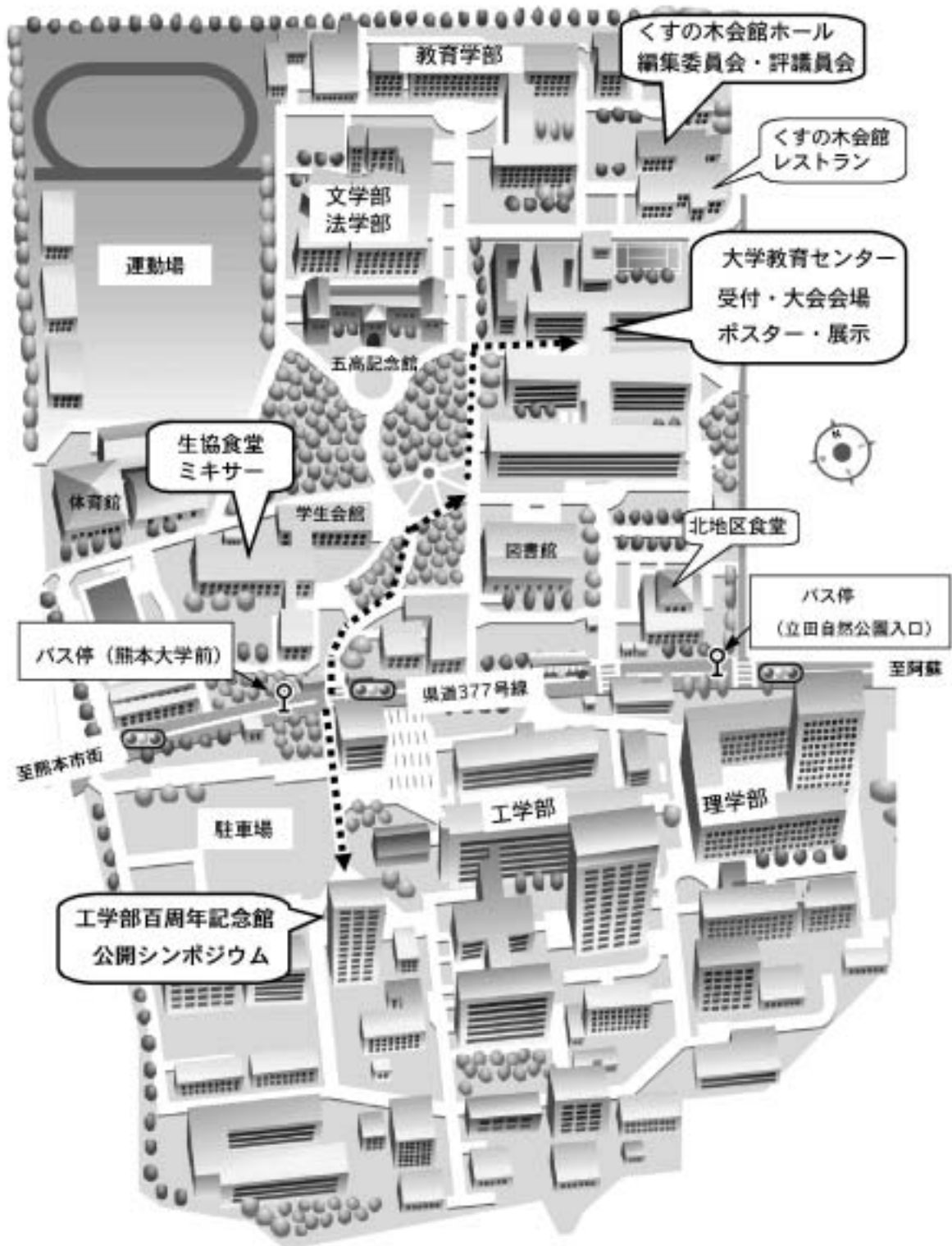
◆懇親会会場への交通のご案内

懇親会は、熊本ホテルキャッスルで9月15日(金)18時30分開始予定です。熊本大学前からバス乗車の場合は、市役所前バス停で下車し(160円)、徒歩5分です。

熊本ホテルキャッスル(熊本市城東町4-2 電話096-326-3311) <http://www.hotel-castle.co.jp/>

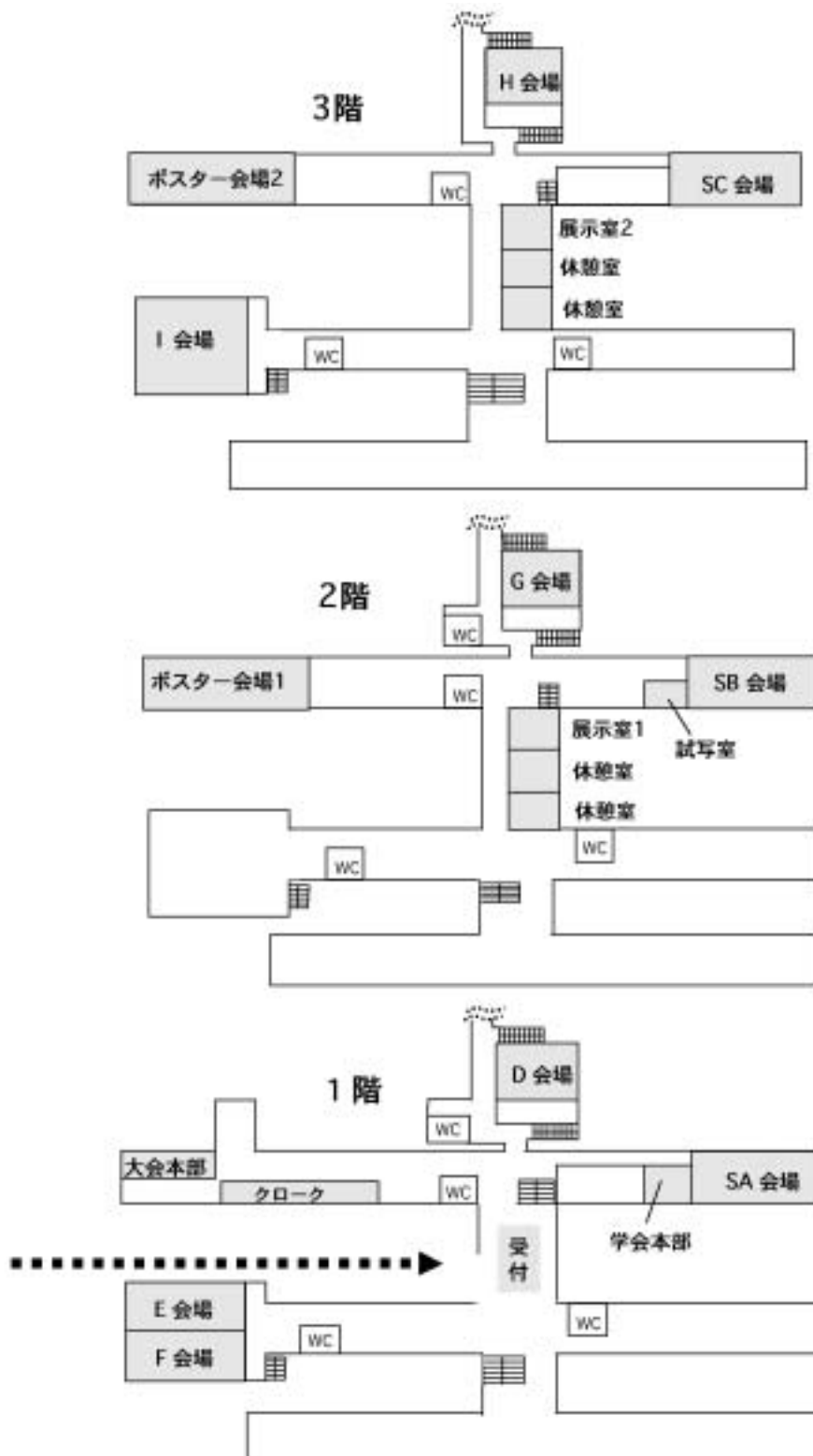


熊本大学キャンパス(黒髪地区)案内図

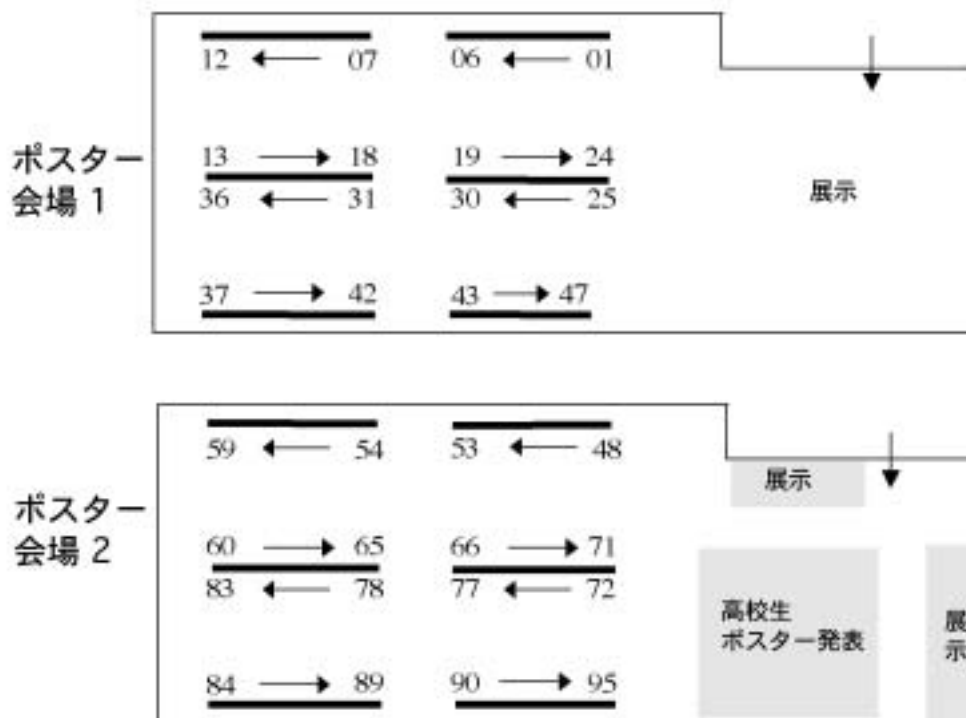


会場配置図

大学教育センター棟

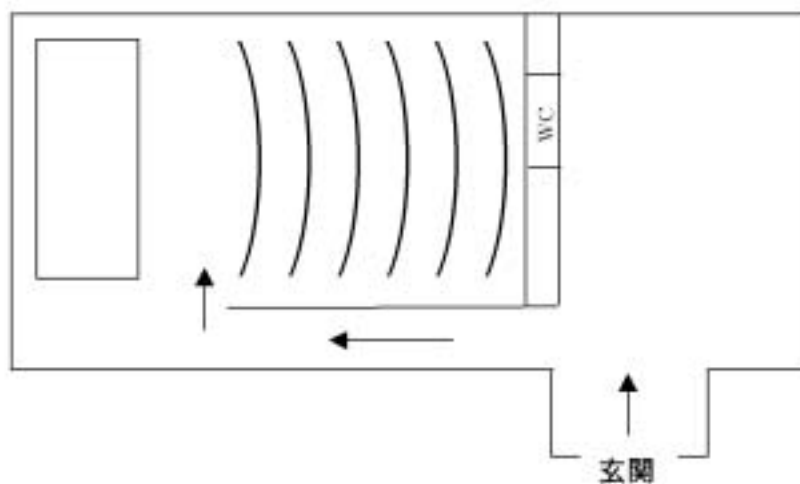


ポスター会場案内図



公開シンポジウム会場

工学部百周年記念館



日 程 表

	会場	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
9 月 13 日 (水)								J P R 編 集 委 員 会		J P R 拡 大 編 集 委 員 会		評 議 員 会		

	会場	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
9 月 14 日 (木)	SA		受 付 ・ ポ ス タ ー (第 1 日) 貼 付	会長主催シンポジウム 根を学ぶ				ポ ス タ ー (第 1 日) 発 表		シンポジウム ゲノムから見た光合成機能の 再発見				関 連 集 会 ・ ミ キ サ ー
	SB	シンポジウム もう一つの植物群：紅藻 類から見直す植物科学					シンポジウム 花粉発生の分子機 構を形態学で見る		若手 奨励 (森)					
	SC	シンポジウム 配偶体の多様性と進化					シンポジウム 常緑広葉樹の生理生態学							
	D	代謝・物質集積					代謝・物質集積							
	E	細胞骨格・運動		若手 奨励 (吉原)			細胞小器官							
	F	形態・構造		奨励 (相田)		P 1-01~94	若手 奨励 (北沢)		発生・形態形成					
	G					討論時間	若手 奨励 (田中)		ゲノム・プロテオーム・ 遺伝子発現制御・情報伝達					
	H	植物-微生物相互作用・ 環境応答				奇数番号演題 13:00~13:45	奨励 (彦坂)		環境応答					
	I	分類・系統・進化				偶数番号演題 13:45~14:30	分類・系統・進化							

ポスター(第1日)は20:00までに撤去して下さい。

会場	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	
9 月 15 日 (金)	SA	ポ ス タ ー （ 第 2 日 ） 貼 付	シンポジウム 二次代謝の多様性と進化			高 校 生 生 物 研 究 発 表 ポ ス タ ー （ 第 2 日 ） 発 表 P 2-01~95 討 論 時 間 奇 数 番 号 演 題 13:00~13:45 偶 数 番 号 演 題 13:45~14:30	高 校 生 生 物 研 究 発 表 ポ ス タ ー （ 第 2 日 ） 発 表 P 2-01~95 討 論 時 間 奇 数 番 号 演 題 13:00~13:45 偶 数 番 号 演 題 13:45~14:30	学 会 賞 授 賞 式 受 賞 講 演 中 継	学 会 賞 授 賞 式	大 賞 講 演	学 術 賞 講 演	フ レ シ ン ポ ス ト ー 年	総 会	懇 親 会 （ 熊 本 ホ テ ル キ ャ ッ ス ル ）
	SB		シンポジウム 絶滅危惧水生植物、車軸藻類 の保全生物学をめざして											
	SC		シンポジウム モデル植物以外の植物ゲノム 研究の新展開											
	D		細胞増殖・細胞分化											
	E		光合成											
	F		発生・形態形成											
	G		生殖											
	H		環境応答											
	I		分類・系統・ 進化											

ポスター(第2日)は16日(土)11:00までに撤去して下さい。

会場	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	
9 月 16 日 (土)	SA	第 70 回 大 会 公 開 シ ン ポ ジ ウ ム 「 九 州 の 植 物 が 危 な い 」	シンポジウム 遺伝子組換え植物の環境影響に 関する研究の現状と今後の課題			第 70 回 大 会 公 開 シ ン ポ ジ ウ ム 「 九 州 の 植 物 が 危 な い 」	第 70 回 大 会 公 開 シ ン ポ ジ ウ ム 「 九 州 の 植 物 が 危 な い 」	第 70 回 大 会 公 開 シ ン ポ ジ ウ ム 「 九 州 の 植 物 が 危 な い 」	第 70 回 大 会 公 開 シ ン ポ ジ ウ ム 「 九 州 の 植 物 が 危 な い 」	第 70 回 大 会 公 開 シ ン ポ ジ ウ ム 「 九 州 の 植 物 が 危 な い 」	第 70 回 大 会 公 開 シ ン ポ ジ ウ ム 「 九 州 の 植 物 が 危 な い 」	第 70 回 大 会 公 開 シ ン ポ ジ ウ ム 「 九 州 の 植 物 が 危 な い 」	第 70 回 大 会 公 開 シ ン ポ ジ ウ ム 「 九 州 の 植 物 が 危 な い 」	第 70 回 大 会 公 開 シ ン ポ ジ ウ ム 「 九 州 の 植 物 が 危 な い 」
	SB		シンポジウム 作物種子研究における新しい 潮流											
	SC		シンポジウム 花 flower —太古の花から青いバラまで											
	D		生体膜											
	E		細胞小器官											
	F		細胞壁											
	G		生態/ 理科教育											
	H		成長生理											
	I		分類・系統・進化											

大会に参加される方へ

受付と全般的注意

- (1) 受付は9月14日(木)8時30分より、大会会場受付で行います。当日参加、学会費納入、学会入会、関連集会の受付も行います。
- (2) 会場内では名札を着用してください。
- (3) 受付近くに専用掲示板を設けます。伝言板としてご利用ください。
- (4) 建物内は休憩室も含めて、全面禁煙です。
- (5) 大学構内には許可証のない車は入構できません。自家用車での入構はご遠慮ください。

研究発表

口頭発表（一般講演）

- (1) 発表時間は1演題につき15分（発表12分，質疑応答3分）です。
 - (2) 発表にはOHPまたは液晶プロジェクターが使用できます。液晶プロジェクターの使用を予定される方は、各自パソコンをご持参下さい。OHPや液晶プロジェクター用パソコンの操作は、各自で行って下さい。大会側では液晶プロジェクターの取扱に関する人員は配置できません。iBook等、特殊な接続ケーブルが必要な場合も、各自でご持参下さい。
 - (3) 液晶プロジェクター使用の際のトラブル時には、OHPでの発表に切り替えて頂きますので、OHPシートも必ずご準備下さい。
 - (4) 液晶プロジェクターの出力解像度はXGA(1024×768)ですので、解像度に合わせてスライドを作成して下さい。
 - (5) 会場内のスクリーンは1枚です。複数の機器の同時投影はできません。外部モニターの認識にリスタートが必要なパソコンの場合には予めリスタートしておいてください。再起動などの時間も含めて発表時間としますのでご注意ください。
 - (6) 以下のような手順を予定しています。
 - 1) 1会場に1台配置した液晶プロジェクターには、切替え器を介した2本の入力ライン(D-Sub15ピン，ミニ)で演者と次演者の2台のパソコンが繋がります。
 - 2) 発表者は次演者席に進み、そこで立ち上がった状態のパソコンを空いているラインに接続し、待機します。
 - 3) 前演者の講演が終わったら、発表者自身で切替え器のスイッチを切替えて下さい。
- ※なお、液晶プロジェクター用の試写室を準備し、そこで事前の動作確認をしていただく予定です。

ポスター発表

- (1) ポスターは90cm(横幅)×120cm(縦)の範囲で作成して下さい。なお、発表コードは大会準備委員会でパネルに貼付しておきます。ポスター貼り付けのための用具は大会準備委員会で用意します。

(2) ポスター発表は第1日 (P1-01~94) と第2日 (P2-01~95) です。

P1-01~94 ・貼り付け 9月14日(木) 8時30分~9時30分
・討論時間 同日 13時~14時30分
(奇数番号演題 13時~13時45分, 偶数番号演題 13時45分~14時30分)
・取り外し 同日 18時30分~20時 (時間厳守)

P2-01~95 ・貼り付け 9月15日(金) 8時~9時
・討論時間 同日 13時~14時30分
(奇数番号演題 13時~13時45分, 偶数番号演題 13時45分~14時30分)
・取り外し 9月16日(土) 11時~12時 (時間厳守)

◎高校生によるポスター発表も学会員と同様に、9月15日(金)13時~14時30分のポスター (第2日) 発表時間に、ポスター会場2で行います。

シンポジウム

発表には液晶プロジェクター, OHPのいずれかを使用してください。当日の進行は, 各オーガナイザーにお任せします。

大会関連行事

- ・ミキサー 9月14日(木) 18時30分~19時30分 (生協食堂)
- ・学会賞授賞式 9月15日(金) 14時30分~15時10分 I会場 (中継; E, F会場)
- ・大賞・学術賞受賞講演 9月15日(金) 15時20分~16時40分 I会場 (中継; E, F会場)
- ・奨励賞・若手奨励賞の受賞講演は, 13~14ページをご覧ください。
- ・懇親会 9月15日(金) 18時30分~20時30分 (熊本ホテルキャッスル)
- ・公開シンポジウム 9月16日(土) 13時30分~16時40分 (工学部百周年記念館)

総会・委員会等

- ・編集委員会 9月13日(水) 13時~15時 くすの木会館
- ・拡大編集委員会 9月13日(水) 15時~16時50分 くすの木会館
- ・評議員会 9月13日(水) 17時~20時 くすの木会館

- ・JPR120周年記念プレシンポジウム 9月15日(金) 16時40分~17時 (I会場)
JPR120周年を迎えるに当たり, JPRの現状と記念事業計画について報告する。
- ・総会 9月15日(金) 17時~18時 (I会場)

会議・行事等の開催一覧表

開催日	開催時間	会議・集会名称	開催場所
9月13日(水)	13時～15時	編集委員会	くすの木会館
	15時～16時50分	拡大編集委員会	くすの木会館
	17時～20時	評議員会	くすの木会館
9月14日(木)	お昼を挟んで適宜	奨励賞・若手奨励賞受賞講演	各会場
	18時30分～20時30分	関連集会	各会場
	18時30分～19時30分	ミキサー	生協食堂
9月15日(金)	14時30分～15時10分	学会賞授賞式	I会場(中継; E, F会場)
	15時20分～16時40分	大賞・学術賞受賞講演	I会場(中継; E, F会場)
	16時40分～17時	JPR120周年記念プレシンポジウム	I会場
	17時～18時	総会	I会場
	18時30分～20時30分	懇親会	熊本ホテルキャッスル
9月16日(土)	13時30分～16時40分	公開シンポジウム	工学部100周年記念館

関連集会

以下の4つの集会在、9月14日(木)18時30分～20時30分に開催されます。

参加申込は、受付へ当日の13時までにお願ひします。

(1) 日本シダ学会 (D会場)

世話人：加藤 雅啓 (国立科学博物館 植物研究部)

1. シノブ科の分類と着生植物の進化

堤 千絵 (東大・院・理・生物科学)

2. 九州のシダの現状

南谷忠志 (宮崎県総合博物館・前副館長)

(2) 生体成分を主とした集い (E会場)

世話人：岩科 司 (国立科学博物館 筑波実験植物園)

1. アントシアニン含有植物を発酵させた食品の特性と機能

大庭理一郎 (崇城大・生物生命・応用微生物)

(3) 日本地衣学会集会 (F会場)

世話人：山本 好和 (秋田県立大・生物資源科学)

アジアの熱帯、亜熱帯の地衣類

1. Lichen Botanization and Its Recent Progress in Taiwan

Ming-Jou Lai (Tunghai University, Taiwan)

2. 演者未定

(4) 女性若手支援策の現状：行政・大学などの取り組み (S A会場)

世話人：加藤 美砂子 (お茶の水大・院・人間文化)

今年度スタートした科学振興調整費「女性研究者支援モデル育成」の採択までの過程と女性若手支援の現状について紹介致します。

演者・演題は未定

ミキサー

9月14日(木)18時30分～19時30分に、参加者同士のフランクな集いの場として「ミキサー」コーナーを生協食堂に設置します。些少ですが、飲物とつまみを用意しますので、語らいにご利用ください(参加費は無料です)。

クローク

クロークの利用可能時間は、以下のとおりです。

9月14日(木) 8時～19時30分

9月15日(金) 8時～18時30分

9月16日(土) 8時～13時

昼食

生協食堂および北地区食堂、周辺のコンビニエンスストア、近辺の食堂・喫茶店をご利用ください。

懇親会

- ・懇親会は、熊本ホテルキャッスルで9月15日(金)18時30分開始予定です。
熊本市城東町4-2 (電話096-326-3311 <http://www.hotel-castle.co.jp/>)
- ・懇親会を申し込んでおられない方も当日参加を受付けますので、ご希望の方は当日の午前中までに「受付」にお申し込みください。

託児所

熊本市内中心部の保育園に乳幼児および子供のための一時保育室を準備しています。

平日は8時30分から16時30分の間、土曜日は午前中のみ利用可能です。利用を希望される参加者は、9月1日(金)までに大会準備委員会へ申込を行ってください。

大会についての問合せ先

会期前 9月12日(火)まで

〒860-8555 熊本市黒髪2-39-1

熊本大学理学部 日本植物学会第70回大会準備委員会

大会準備委員長 吉玉 國二郎

e-mail: plant-ku@sci.kumamoto-u.ac.jp

TEL & FAX 096-342-3439

会期中 9月13日(水)～16日(土)の4日間

日本植物学会第70回大会本部

4日間特設のTEL & FAX 096-342-3004

※大会に関する最新情報は、熊本大会HP (<http://bsj.or.jp/bsj70/>) で順次更新していきます。

学会賞授賞式 および 受賞講演

9月15日(金) 14:30-16:40

大学教育センター棟 I会場 (中継; E, F会場)

14:30-15:10 平成18年度 日本植物学会学会賞授賞式

大賞

駒嶺 穆 (横浜市立大学木原生物学研究所)

「細胞培養系の先駆的開発による植物細胞の全能性発現機構の研究」

学術賞

近藤 孝男 (名古屋大学大学院理学系研究科)

「シアノバクテリアの概日時計の分子メカニズムに関する研究」

奨励賞

相田 光宏 (奈良先端科学技術大学院大学バイオサイエンス研究科)

「シロイヌナズナを用いた茎頂・根端分裂組織と器官形成に関する研究」

彦坂 幸毅 (東北大学大学院生命科学研究科)

「窒素利用の観点からの光合成順化の解析」

若手奨励賞

森 稔幸 (立教大学理学部生命理学科)

「テッポウユリ花粉をもちいた被子植物受精決定因子の発見」

吉原 静恵 (大阪府立大学大学院理学系研究科)

「シアノバクテリア走光性分子機構の解析およびそれに関わる新種光受容体の発見」

北澤 大典 (東北大学大学院生命科学研究科)

「アサガオの重力屈性突然変異体を用いた形態形成の重力依存性に関する研究」

特別賞

特別賞 (技術)

川窪 伸光 (岐阜大学応用生物科学部生物環境科学)

「躍動する植物の視覚化技法」

特別賞 (教育)

貝沼 喜兵 (元・筑波大学附属駒場中・高等学校教諭)

「高等学校生物教育における分子遺伝学の教材化に関する実践的研究」

特別賞 (その他)

首都大学東京牧野標本館

「所蔵標本の継続的管理と標本資料に基づく情報の発信」

平成18年度 JPR論文賞授賞式

Best Paper Award:

Ayano, M., Imaichi, R. and Kato, M. (2005) Developmental morphology of the Asian one-leaf plant, *Monophyllaea glabra* (Gesneriaceae) with emphasis on inflorescence morphology. JPR 118:99-109

Ikushima, T. and Shimmen, T. (2005) Mechano-sensitive orientation of cortical microtubules during gravitropism in azuki bean epicotyls. JPR 118:19-26

Most-Cited Paper Award:

Schmülling, T., Werner, T., Riefler, M., Krupková, E. and Bartrina y Manns, I. (2003) Structure and function of cytokinin oxidase/dehydrogenase genes of maize, rice, *Arabidopsis* and other species. JPR 116:241-252

15:20–16:40 平成18年度 日本植物学会学会賞受賞講演

15:20–16:00 駒嶺 穆 (横浜市立大学木原生物学研究所)

「細胞培養系による植物細胞機能の解析－私の辿ってきた道－」

16:00–16:40 近藤 孝男 (名古屋大学大学院理学系研究科)

「シアノバクテリアの生物時計：概日周期の発生機構を求めて」

※奨励賞と若手奨励賞の受賞講演は、9月14日(木)に以下の会場・時間で行います。

奨励賞

相田 光宏 (奈良先端科学技術大学院大学バイオサイエンス研究科)

「シロイヌナズナを用いた茎頂・根端分裂組織と器官形成に関する研究」

9月14日, F会場, 11:30–12:00

彦坂 幸毅 (東北大学大学院生命科学研究科)

「窒素利用の観点からの光合成順化の解析」

9月14日, H会場, 14:30–15:00

若手奨励賞

森 稔幸 (立教大学理学部生命理学科)

「植物精子の機能分化－受精決定因子の発見－」

9月14日, S B会場, 17:05–17:35

吉原 静恵（大阪府立大学大学院理学系研究科）

「シアノバクテリア走光性分子機構の解析およびそれに関わる新種光受容体の発見」

9月14日，E会場，11:15－11:45

北澤 大典（東北大学大学院生命科学研究科）

「アサガオの重力屈性突然変異体を用いた形態形成の重力依存性に関する研究」

9月14日，F会場，14:30－15:00

田中 博和（中部大学応用生物学部）（平成17年度若手奨励賞）

「シロイヌナズナを用いた表皮分化の制御機構の分子遺伝学的解析」

9月14日，G会場，14:30－15:00

日本植物学会第70回(熊本)大会公開シンポジウム

九州の植物が危ない

日時：2006年9月16日(土) 13:30～16:40

場所：工学部百周年記念館

- 13:30～13:35 はじめに
 内野明德 (大会会長 熊本大・院・自然科学)
- 司会 高宮正之 (熊本大・院・自然科学)
- 13:35～14:05 西南日本植物相の由来と分化
 堀田 満 (西南日本植物情報研究所)
- 14:05～14:35 阿蘇の草原植物の現状
 瀬井純雄 (阿蘇市立波野小学校)
- 14:35～15:05 宮崎の植物の現状～特に鹿の食害について
 南谷忠志 (前宮崎県総合博物館)
- 15:05～15:35 沖縄県の絶滅の恐れのある野生植物
 横田昌嗣 (琉球大・理・海洋自然)
- 15:35～16:05 九州の絶滅危惧植物をどう守るか？
 矢原徹一 (九大・院・理・生物)
- 16:05～16:35 総合討論
- 16:35～16:40 おわりに
 吉玉國二郎 (大会準備委員長 熊本大・院・自然科学)

会長主催シンポジウム

根を学ぶ

日時：2006年9月14日(木) 9:30~12:00

会場：S A会場

オーガナイザー 和田正三 (基生研・光情報)

9:30 はじめに
和田正三 (基生研・光情報)

9:35 1aSA1 陸上植物の根の進化
長谷部光泰 (基生研・生物進化/総研大・生命科学)

10:00 1aSA2 根における細胞の生長と分化 -カスパリー線を指標として-
唐原一郎 (富山大・院・理工・生物)

10:25 1aSA3 植物体内の水輸送における根の役割
種子田春彦 (東京大・院・理・生物)

10:50 1aSA4 作物の根の環境適応性
-ダイズにおける二次通気組織の形成と機能を中心として-
○望月俊宏 (九州大・農業生産生態学)・島村 聡 (農水省作物研)

11:15 1aSA5 圃場での作物生産における根の役割
阿部 淳 (東京大・院・農学生命科学)

11:40 総合討論
司会
和田正三 (基生研・光情報)

もう一つの植物群：紅藻類から見直す植物科学

日時：2006年9月14日(木) 9:30~12:00

会場：S B会場

- オーガナイザー 田中 寛 (東大・分生研)
佐藤直樹 (東大・総合文化)
- 9:30 はじめに
田中 寛 (東大・分生研)
- 9:35 1aSB1 細胞共生のしくみをシゾンで探る
田中 寛 (東大・分生研)
- 10:00 1aSB2 オルガネラ分裂解析システムとしての *Cyanidioschyzon merolae*
○西田敬二 (立教大・理, J S P S)・黒岩常祥 (立教大・理)
- 10:25 1aSB3 原始紅藻 *Cyanidioschyzon merolae* の光化学系はキメラ的
葉子野康浩 (兵庫県立大院・生命理)
- 10:50 1aSB4 原始紅藻類における貯蔵多糖代謝
○中村保典 (秋田県立大・生物資源科学, CREST・JST)・下永高弘 (東薬大・生命)・小西麻衣 (東薬大・生命)・鈴木英治 (秋田県立大・生物資源科学, CREST・JST)・藤田直子 (秋田県立大・生物資源科学, CREST・JST)・藤原祥子 (東薬大・生命, CREST・JST)・都筑幹夫 (東薬大・生命, CREST・JST)・横山亜紀子 (山形大・理)・原 慶明 (山形大・理)
- 11:15 1aSB5 紅藻の比較ゲノム・比較生理学から学ぶこと
佐藤直樹 (東大・総合文化)
- 11:45 総合討論

植物分類学関連学会連絡会共催シンポジウム

配偶体の多様性と進化

日時：2006年9月14日(木) 9:30~12:00

会場：S C会場

オーガナイザー 加藤雅啓 (科博・植物)

9:30 1aSC1 シヤジクモ藻類の体制・生殖を遺伝子から探る
○伊藤元己 (東大・院・総合文化)・関本弘之 (日本女子大・理)

9:55 1aSC2 自由生活するコケ配偶体がたどった形態多様化の道筋
秋山弘之 (兵庫県立大・自然・環境科学)

10:20 1aSC3 シダ植物配偶体の形態形成と多様性
今市涼子 (日本女子大・理)

10:45 1aSC4 独立シダ配偶体の世界
海老原 淳 (科博・植物)

11:10 1aSC5 被子植物の胚嚢と内乳の進化
山田敏弘 (科博・地学)

11:35 1aSC6 全ゲノム解析から分かってきた陸上植物における配偶体発生遺伝子の進化
棚橋貴子 (基生研)

ゲノムから見た光合成機能の再発見

日時：2006年9月14日(木) 15:00~18:00

会場：S A会場

オーガナイザー 池内昌彦 (東大・院・総合文化・生命環境)

15:00 はじめに
池内昌彦 (東大・院・総合文化・生命環境)

15:05 1pSA1 ゲノムから見た炭素代謝関連遺伝子
○徳富 (宮尾) 光恵, 大河 浩, 谷口洋二郎, 深山 浩 (農業生物資源研・光合成)

15:30 1pSA2 ゲノムから見たカルビン回路完成の分子機構
○蘆田弘樹, 横田明穂 (奈良先端大・バイオサイエンス)

15:55 1pSA3 ゲノムから見た光合成の窒素代謝
小俣達男 (名大・院・農)

16:20 1pSA4 ゲノムから見た光合成の脂質代謝
和田 元 (東大・院・総合文化・生命環境)

16:45 1pSA5 ゲノムから見た光合成の光質適応
片山光徳 (東大・院・総合文化・生命環境)

17:10 1pSA6 ゲノムから見た光合成のステート遷移
園池公毅 (東大・院・新領域・先端生命)

17:35 1pSA7 ゲノムから見た拡張光合成遺伝子
佐藤直樹 (東大・院・総合文化・生命環境)

18:00 総合討論

日本植物形態学会共催シンポジウム
花粉発生の分子機構を形態学で観る
ー減数分裂から受精までー

日時：2006年9月14日(木) 15:00~17:45

会場：S B会場

- オーガナイザー 田中一朗 (横浜市大・院・国際総合科)
東山哲也 (東京大・院・理)
- 15:00 はじめに
田中一朗 (横浜市大・院・国際総合科)
- 座長 東山哲也 (東京大・院・理)
- 15:05 1pSB1 減数分裂時に見られる相同染色体の挙動
安積良隆 (神奈川大・理)
- 15:35 1pSB2 不等分裂による雄原細胞と栄養細胞の分化
田中一朗 (横浜市大・院・国際総合科)
- 座長 田中一朗 (横浜市大・院・国際総合科)
- 16:05 1pSB3 花粉成熟に伴うオルガネラの分化 ー液胞系を中心としてー
野口哲子 (奈良女大・理)
- 16:35 1pSB4 花粉管ガイダンスにおける細胞間シグナリング
東山哲也 (東京大・院・理)
- 17:05 1pSB5 (若手奨励賞受賞講演)
植物精子の機能分化 ー受精決定因子の発見ー
森 稔幸 (立教大・理)
- 17:35 総合討論

常緑広葉樹の生理生態学

日時：2006年9月14日(木) 15:00~18:00

場所：S C会場

オーガナイザー 久米 篤 (富山大・理)

15:00 はじめに
久米 篤 (富山大・理)

15:05 1pSC1 サカキにおける枝次数と枝葉の生理・成長との関係
○鈴木 新, 斉藤隆実, 曾根恒星 (大阪大・院・理), 種子田春彦, 寺島一郎
(東京大・院・理)

15:30 1pSC2 常緑広葉樹における冬の低温光阻害の進行と光合成能力の季節変動との関連
宮沢良行 (九州大・熱帯農学研究センター)

15:55 1pSC3 日本産常緑広葉樹の樹幹における水分通道様式
梅林利弘 (九州大・院・農)

16:20 1pSC4 幹を流れる水から常緑広葉樹の光合成・蒸散を考える
熊谷朝臣 (九州大・院・農・宮崎演習林)

16:45 1pSC5 花からの蒸散が最大光合成速度に及ぼす影響
○久米 篤 (富山大・理), 大槻恭一 (九州大・院・農・福岡演習林)

17:10 1pSC6 常緑広葉樹林からの蒸散を比較する
小松 光 (九州大・院・農・福岡演習林)

17:35 総合討論

二次代謝の多様性と進化

日時：2006年9月15日(金) 9:00~12:00

会場：S A会場

- オーガナイザー 作田正明 (お茶の水大・院・人間文化)
吉玉國二郎 (熊本大・院・自然科学)
- 9:00 はじめに
作田正明 (お茶の水大・院・人間文化)
- 9:05 2aSA1 植物界におけるフラボノイドの多様性
岩科 司 (国立科博・植物園)
- 9:30 2aSA2 マメ科特異的イソフラボノイド生合成遺伝子の機能・構造・分子進化
○青木俊夫・明石智義・内山 寛・綾部真一 (日本大・生物資源・応用生物)
- 9:55 2aSA3 *N*-メチルトランスフェラーゼの多様性から考えるカフェイン生合成
加藤美砂子 (お茶の水大・院・人間文化)
- 10:20 2aSA4 イソキノリンアルカロイド生合成系にみる代謝進化
佐藤文彦 (京大・院・生命科学)
- 10:45 2aSA5 ステロイド、トリテルペノイド骨格形成の多様性と分子進化
村中俊哉 (理研・P S C)
- 11:10 2aSA6 ナデシコ目はなぜアントシアニンをつくらないのか
作田正明 (お茶の水大・院・人間文化)
- 11:35 おわりに
吉玉國二郎 (熊本大・院・自然科学)

日本藻類学会後援

絶滅危惧水生植物，車軸藻類の保全生物学をめざして

日時：2006年9月15日(金) 9:00~11:50

会場：S B会場

- オーガナイザー 野崎久義 (東京大・院・理・生物)
笠井文絵 (国立環境研・生物圏)
渡邊 信 (筑波大・生命環境科学)
- 9:00 2aSB1 車軸藻類の環境科学における重要性
渡邊 信 (筑波大・生命環境科学)
- 9:20 2aSB2 車軸藻類の分類と生態
坂山英俊 (東京大・院・総合文化・生命環境)
- 9:45 2aSB3 日本の陸水域における車軸藻類の現況
野崎久義 (東京大・院・理・生物)
- 10:10 2aSB4 千葉県の現場から (その1): 絶滅種テガヌマフラスコモの再生
○森嶋秀治 (千葉県立船橋古和釜高校), 佐野郷美 (千葉県立船橋芝山高校)
- 10:25 2aSB5 千葉県の現場から (その2): イノカシラフラスコモの保護
○佐野郷美 (千葉県立船橋芝山高校), 森嶋秀治 (千葉県立船橋古和釜高校)
- 10:40 2aSB6 長野県野尻湖における野生絶滅ホシツリモの復元活動と環境教育
○樋口澄男・北野 聡 (長野県環境保全研究所), 近藤洋一 (野尻湖ナウマンゾウ博物館), 酒井昌幸, 山川篤行, 酒井今朝重 (野尻湖水草復元研究会), 林 弘道 (長野県環境保全研究所)
- 11:05 2aSB7 絶滅危惧藻類の域外保全の現場から
○笠井文絵 (国立環境研・生物圏), 石本美和, 恵良田真由美 ((財)地球・人間環境フォーラム), 河地正伸 (国立環境研・生物圏)
- 11:30 総合討論
座長
渡邊 信 (筑波大・生命環境科学)

モデル植物以外の植物ゲノム研究の新展開

日時：2006年9月15日(金) 9:00~12:00

会場：S C会場

オーガナイザー 萩原保成 (横浜市大・木原生研)
篠崎一雄 (理研・P S C)

9:00 はじめに (オーガナイザー)
萩原保成 (横浜市大・木原生研)
篠崎一雄 (理研・P S C)

9:05 2aSC1 倍数性コムギの機能ゲノム科学
萩原保成 (横浜市大・木原生研)

9:30 2aSC2 イネ科植物の比較トランスクリプトーム解析
持田恵一 (理研・P S C)

10:00 2aSC3 オオムギゲノム研究の展開と応用
佐藤和広 (岡大・資生研)

10:30 2aSC4 ナス科植物のゲノム研究の展開
江面 浩 (筑波大・遺伝子)

11:00 2aSC5 マメ科植物のゲノム科学
田畑哲之 (かずさDNA研)

11:30 2aSC6 モデル植物から応用植物ゲノム研究へ
篠崎一雄 (理研・P S C)

11:55 おわりに
駒嶺 穆 (横浜市大・木原生研)

遺伝子組換え植物の環境影響に関する研究の 現状と今後の課題

日時：2006年9月16日(土) 9:00-12:00

会場：S A会場

オーガナイザー

佐治 光 (国立環境研)

鎌田 博 (筑波大・院・生命環境)

9:00 3aSA1

カルタヘナ法の下での遺伝子組換え植物使用の現状と課題

渡邊和男 (筑波大・院・生命環境)

9:30 3aSA2

遺伝子組換え農作物の環境影響長期モニタリング

吉村泰幸 (農業環境技術研)

10:00 3aSA3

ダイズからツルマメへの遺伝子浸透

－遺伝子組換えダイズの環境影響評価に向けて－

○加賀秋人, 黒田洋輔, 友岡憲彦, ダンカン・ヴォーン (農業生物資源研)

10:30 3aSA4

適応度を考慮したシミュレーションによる組換え遺伝子の拡散リスク評価

○北本尚子, 大澤 良 (筑波大・院・生命環境)

11:00 3aSA5

一般環境中での遺伝子組換えナタネの生育状況

中嶋信美 (国立環境研)

11:20 3aSA6

遺伝子組換えユーカリの第一種使用申請と隔離ほ場栽培試験

○菊池 彰 (筑波大・院・生命環境), 河岡明義 (日本製紙・森林科学), 于翔, 島崎高嘉 (筑波大・院・生命環境), 海老沼宏安 (日本製紙・森林科学), 渡邊和男 (筑波大・院・生命環境)

11:40

総合討論

作物種子研究における新しい潮流

日時：2006年9月16日(土) 9:00~12:00

会場：S B会場

- オーガナイザー 吉田元信 (近畿大・農)
田畑哲之 (かずさDNA研)
山田恭司 (富山大・院・理工)
- 9:00 はじめに
オーガナイザー
- 9:05 3aSB1 ゴマ種子オイルボディのフォーカストプロテオミクス
○吉田元信, 濱田 聡, 種坂英次 (近畿大・農)
- 9:25 3aSB2 ダイズ11Sグロブリンのタンパク質貯蔵液胞への選別輸送シグナル
○丸山伸之, 内海 成 (京都大・院・農)
- 9:45 3aSB3 イネ種子貯蔵タンパク質グルテリンのプロテインボディへの輸送・蓄積に関する遺伝的集積機構
○熊丸敏博, 竹本陽子, 佐藤美緒, 佐藤 光 (九州大・院・農) 小川雅広 (山口県大・生活), 西村いく子 (京都大・院・理), 鷲田治彦, Thomas W.Okita (ワシントン州立大)
- 10:05 3aSB4 温度による種子発芽の調節と植物ホルモン
○川上直人, 藤 茂雄, 小林大佑, 田村典子 (明治大・農)
- 10:25 3aSB5 オオムギの種子発芽に関わる遺伝子研究
佐藤和広 (岡山大・資生研)
- 10:45 3aSB6 ゴマの果実(さく果)の裂開機構を探る
山田恭司 (富山大・院・理工)
- 11:05 3aSB7 マメ科モデル植物ミヤコグサの包括的代謝物解析
○青木 考, 西田 寛, 佐々木亮介, 酒井雄志, 櫻井 望, 鈴木秀幸 (かずさDNA研), 斉藤和季 (千葉大・薬), 柴田大輔 (かずさDNA研)
- 11:25 3aSB8 被子植物の初期胚発生機構: *in vitro* 受精系から見えるもの
○岡本龍史, Wang Shuyi, 内海貴夫 (首都大東京・理)
- 11:45 総合討論

花 flower – 太古の花から青いバラまで

日時：2006年9月16日(土) 9:00~12:00

会場：S C会場

- オーガナイザー 岩科 司 (国立科博・筑波実験植物園)
小関良宏 (農工大・工・生命工)
- 9:00 はじめに
岩科 司 (国立科博・筑波実験植物園)
- 座長 岩科 司 (国立科博・筑波実験植物園)
- 9:10 3aSC1 化石が語る花の系譜
西田治文 (中央大・理工学部)
- 9:35 3aSC2 多様な花色を醸し出す植物色素の構造と進化
吉玉國二郎 (熊本大・院・自然科学)
- 10:00 3aSC3 花色をつかさどるアントシアニンとベタレイン合成に関わる遺伝子の解明
小関良宏 (農工大・工・生命工)
- 座長 小関良宏 (農工大・工・生命工)
- 10:25 3aSC4 栽培ギクの過去・現在・将来
柴田道夫 (農研機構・花き研)
- 10:50 3aSC5 花色の変異、特に青色の花色について
武田幸作 (東京学芸大)
- 11:15 3aSC6 バイオテクノロジーによる青い花の開発
田中良和 (サントリー(株)・先進コア技術研)
- 11:40 おわりに
駒嶺 穆 (横浜市大・木原生研)